

天明由緒

九尾

中江之卷

濱川 昭助  
松山 行重  
法 三賢  
林 昌種  
細谷 大史  
今治 幸治  
小野 五右衛門  
中川 高昌  
吉野 實高  
坂中 實高



後井 昌甫  
南條 清心  
梅村 友重  
小野 正  
中野 宗碩  
牛尾 龍夫  
中野 嘉平  
中野 宗直  
新屋 洋治  
廣原 昌甫

後井 宗吉  
山根 清吉  
西尾 重八  
江向 登  
長田 文重  
河村 宗吉  
高田 宗吉  
石井 宗助  
高橋 宗太  
後田 元吉  
長 興吉



澳門曆年由緒

一 粵祖文

澳門曆年由緒

麻智院林氏父三德之於十月為其自安之子年數  
中亦有在書中

麻智院林氏父三德

因麻院林氏父三德之子年數

麻智院林氏父三德之子年數

一 祖文

麻智院

澳門曆年由緒

麻智院林氏父三德

因麻院林氏父三德之子年數

麻智院林氏父三德之子年數

麻智院林氏父三德之子年數





















有... 院... 日...  
... 院... 日...  
... 院... 日...

又

小野半

... 院... 日...  
... 院... 日...  
... 院... 日...

又

小野半

... 院... 日...  
... 院... 日...  
... 院... 日...

河 卷の譜

... 院... 日...  
... 院... 日...  
... 院... 日...

小野半

... 院... 日...  
... 院... 日...  
... 院... 日...





















此乃... 卷之...

後德院... 卷之...

出元...

夏 出元...

後德院... 卷之...

夏 出元...

後德院... 卷之...

夏

後德院... 卷之...

中...

夏

後德院... 卷之...

後德院... 卷之...

















大の敵りお屋の... 後徳院... 目... 自... 正... 言... 西... 母... かの...

隔 第八内篇

一又

情 十又

後徳院... 正... 言... 西... 母... かの... 大の敵りお屋の... 後徳院... 目... 自... 正... 言... 西... 母... かの...





陽平の國十二年の事の事  
の月大由の事の事の事  
正島國の事の事の事  
東山の事の事の事  
陽平の事の事の事  
正島國の事の事の事  
東山の事の事の事  
陽平の事の事の事

陽平の事

陽平の事

大正十四年三月の事  
陽平の事の事の事  
東山の事の事の事  
陽平の事の事の事

陽平の事の事の事  
東山の事の事の事  
陽平の事の事の事

陽平の事

陽平の事の事の事  
東山の事の事の事  
陽平の事の事の事  
東山の事の事の事  
陽平の事の事の事  
東山の事の事の事  
陽平の事の事の事  
東山の事の事の事  
陽平の事の事の事  
東山の事の事の事







書子之傳大... 有... 一身... 一

松村方谷日者

一又

...

後... 一... 久...

...

...

...

...





一 後德院御成文

西行御成文

一 西行御成文

西行御成文

平昔の事補綴に在

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て  
國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢

書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

三國志の序

後漢

書に在る事

今も亦其人其地を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる





是乃人所共知の事也

後世に於ては其の事を知る者も亦少からず

然るに其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず







志月平夫自語

一 變

後述後述也... 志月平夫

切... 志月平夫

一 復

志月平夫... 志月平夫

一 廿一日 由緒

又

廿一日

後... 廿一日

廿一日

廿一日

後... 廿一日

一 廿一日 由緒

廿一日

後... 廿一日

廿一日

後... 廿一日

一 廿一日 由緒

廿一日

廿一日

後... 廿一日







一 復又  
此中何意  
一 復又  
此中何意

一 復又

此中何意

一 復又  
此中何意  
一 復又  
此中何意  
一 復又  
此中何意  
一 復又  
此中何意  
一 復又  
此中何意  
一 復又  
此中何意

此中何意

一 復又  
此中何意  
一 復又  
此中何意  
一 復又  
此中何意  
一 復又  
此中何意  
一 復又  
此中何意  
一 復又  
此中何意

此中何意





一 夫の元... 此書入... 海... 夫の元... 此書入... 海...

又

後

一 夫の元... 此書入... 海... 夫の元... 此書入... 海... 夫の元... 此書入... 海...

楊尼氏記

親中... 楊尼氏記

後

一 夫の元... 此書入... 海... 夫の元... 此書入... 海... 夫の元... 此書入... 海...

Handwritten text in a cursive script, likely a list or a series of entries, starting with a vertical line on the left.

附 所 有 者

抄 本

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or entries from the previous page.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or entries from the previous page.

















如天忠義の緒

一 秘傳の道は天の旨に由りて成るなり  
後世に流布せられたるものあり  
大なる秘傳は問はずに傳へるものあり  
古き秘傳は次第に傳へるものあり  
此の秘傳は天の旨に由りて成るなり

中 天の旨の緒

後世に流布せられたるものあり  
大なる秘傳は問はずに傳へるものあり  
古き秘傳は次第に傳へるものあり  
此の秘傳は天の旨に由りて成るなり

天の旨の緒

一 秘傳の道は天の旨に由りて成るなり  
後世に流布せられたるものあり  
大なる秘傳は問はずに傳へるものあり  
古き秘傳は次第に傳へるものあり  
此の秘傳は天の旨に由りて成るなり

天の旨の緒

秘傳の道は天の旨に由りて成るなり  
後世に流布せられたるものあり  
大なる秘傳は問はずに傳へるものあり  
古き秘傳は次第に傳へるものあり  
此の秘傳は天の旨に由りて成るなり

六四八〇〇〇

一  
後  
陰  
日

差  
長

長  
長

長  
長

長  
長

神  
子

一  
神  
子

一  
神  
子

所請者皆奉命之次第也解之是也奉之

山月寺の寺





